

仙台市若林障害者福祉センター

障害者福祉「キャップハンディ体験」教室を開催しました

令和元年8月28日

仙台市若林障害者福祉センター

去る令和元年8月28日（水）、仙台市立蒲町小学校体育館にて、障害者福祉「キャップハンディ体験」教室を開催しました。

蒲町小学校4年生119名の児童に対して、白杖体験と片麻痺体験の二つの体験と、講師として嶋原真一様（仙台市障害者相談員）に協力をいただき、障害者の普段の生活についての話や児童たちからの質問に答えていただきました。

体験後、児童たちから講師に対しての質問では「目が見えないとどんなことが困っていますか」や「移動するときに白杖が折れたらどうするんですか」などの質問が聞かれ、片麻痺体験では「段差を昇るときはどうするんですか」や「ご飯を食べる時はどうするんですか」などの質問が聞かれました。

今回の体験教室を通して、「障害があるとこんなに生活が大変なんだと初めて知りました」、「目が見えない人や手足が動きにくい人がいれば何かお手伝いをしたい」などの感想が聞かれました。児童たちにとって障害理解の促進と豊かな感性を育むよい時間となったと思われました。

